

令和5年度

第1回

刈谷市生活支援・介護予防体制整備推進協議会

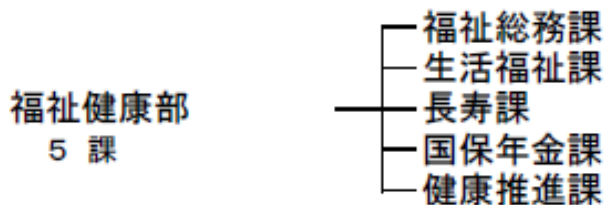
令和5年7月31日
刈谷市役所長寿課

議 題

- (1) 昨年度の推進協議会の振り返り
- (2) 高齢者・介護人材の現状
- (3) 実態調査の結果
- (4) 他市の事例
 - ①住民参加型の支え合い
 - ②民間企業等との連携
- (5) 第2層生活支援コーディネーター活動報告
- (6) その他

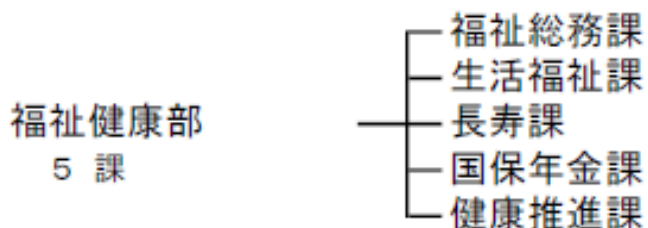
(1) 昨年度の推進協議会の振り返り

長寿課組織図



総務係、障害企画係、障害給付係、普及支援係
 生活支援係、生活保護第1係、生活保護第2係
 管理係、**高齢福祉係**、介護保険企画係、介護認定給付係
 国民年金係、医療係、国民健康保険係
 健康企画係、成人保健係、健康増進係

R5年度より高齢福祉係から介護予防部門が分離



総務係、障害企画係、障害給付係、普及支援係
 生活支援係、生活保護第1係、生活保護第2係
 長寿生きがい係、**高齢福祉係**、**介護予防推進係**、介護保険企画係、介護認定給付係
 国民年金係、医療係、国民健康保険係
 健康企画係、成人保健係、健康増進係

高齢福祉係（係長以下6名）

- ・ 地域包括支援センター
- ・ 高齢者虐待、支援困難ケース
- ・ 高齢者福祉サービス（配食、タクシー券、見守り機器など）
- ・ 成年後見制度

など

介護予防推進係（係長以下5名）

- ・ 生活支援・介護予防体制整備推進事業
- ・ 介護予防関連施策
- ・ 認知症関連施策

など

(1) 昨年度の推進協議会の振り返り

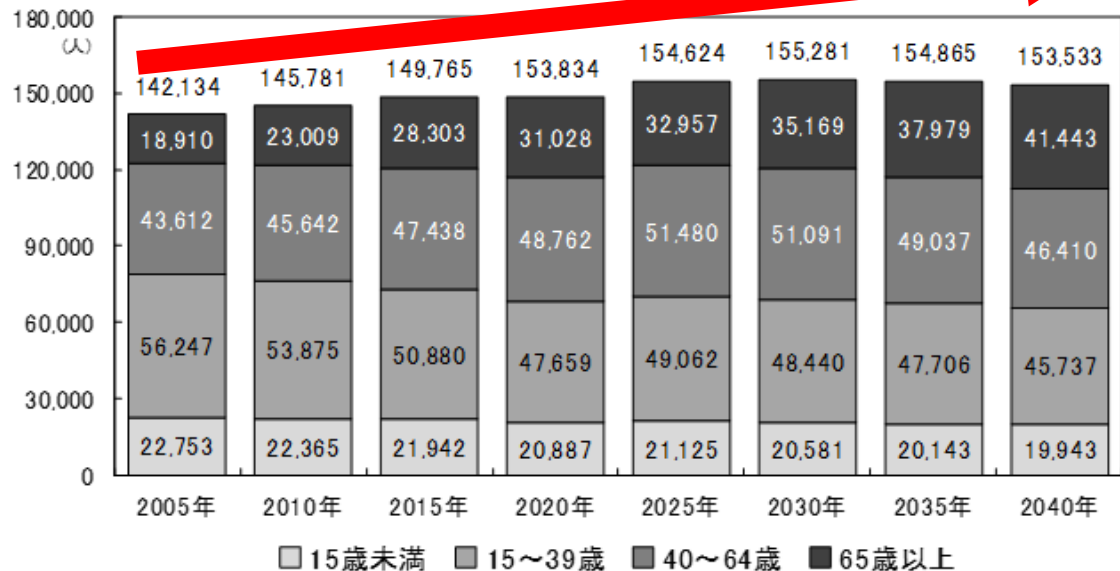
令和4年度

回	内容	会議で出た主なワード
第1回	多世代交流事業について 第2層生活支援コーディネーター活動報告について	<ul style="list-style-type: none">• 子供たち、若い世代が担い手となり、地域の支え合いが必要• 民生委員の担い手が減ってきており、アウトリーチが不足する危惧• 独居高齢者や高齢者のみ世帯の生活が不安• 些細なことでもできる支援から始めていく必要がある
第2回	地域での活動状況と課題の共有について 第2層生活支援コーディネーター活動報告について 地域の課題について サロン交流会について 多世代交流事業について	
第3回	住まいの課題について 課題の抽出方法について 通いの場の交流会について 多世代交流事業について 第2層生活支援コーディネーター活動報告について	

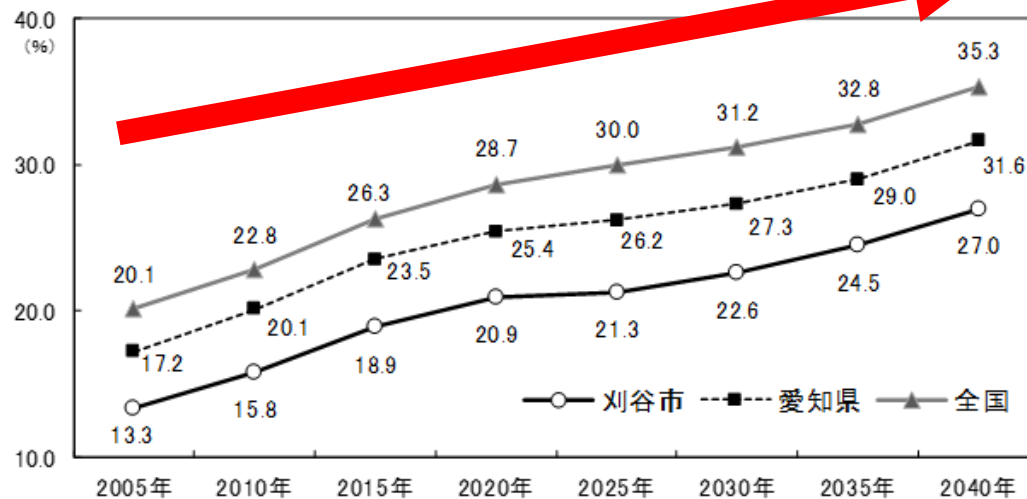
(2) 高齢者・介護人材の現状

(2) 高齢者・介護人材の現状 (人口と高齢化率)

■人口の推移と推計



■高齢化率の推移と推計



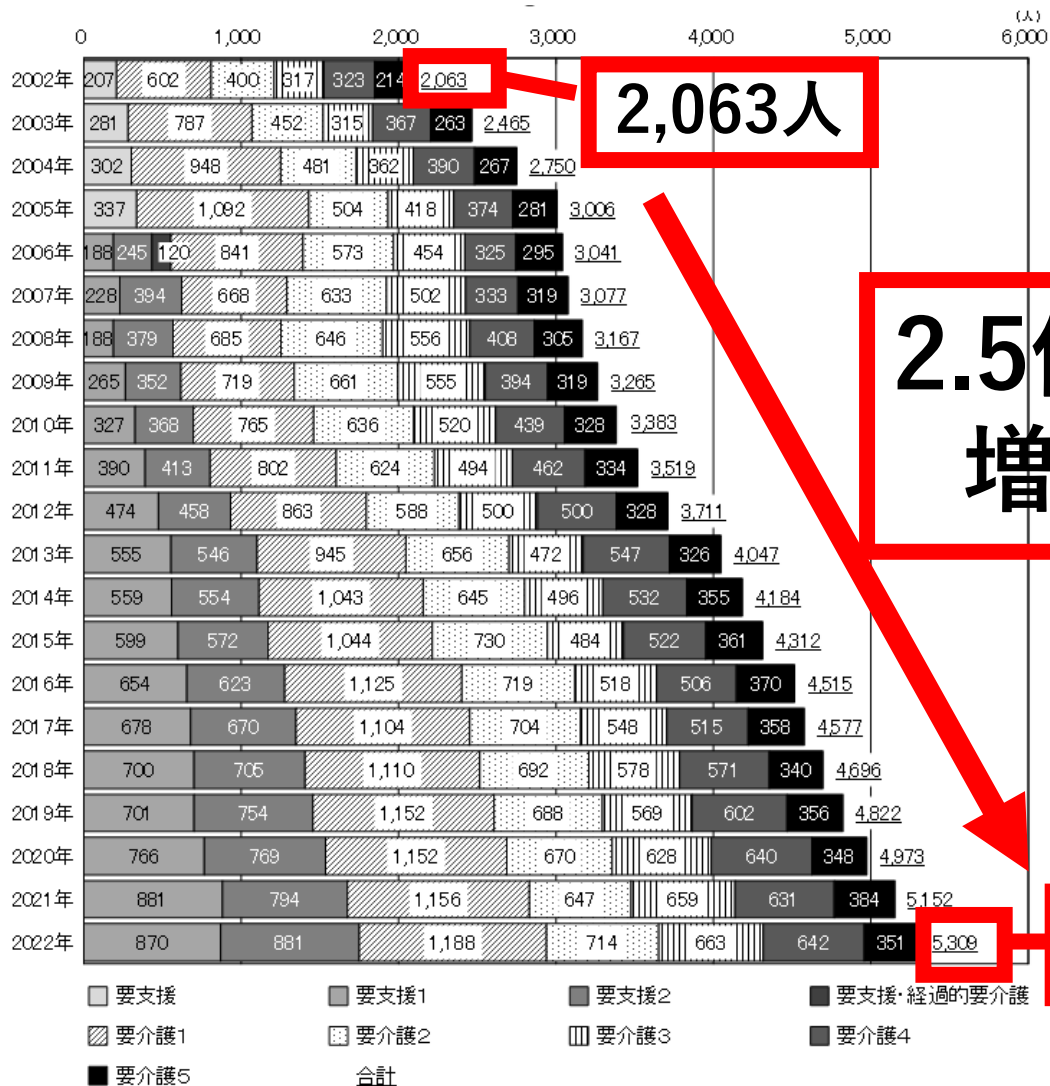
資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 （令和2年（2020年）までの総人口には「年齢不詳」が含まれるため、各年代別人口の合計と一致しません。）

65歳以上が増加

人口は2030年をピークをむかえ、その後、減少に転じるが、
 65歳以上の高齢者人口は継続して増加することが予想される⁷

(2) 高齢者・介護人材の現状（要支援・要介護認定者）



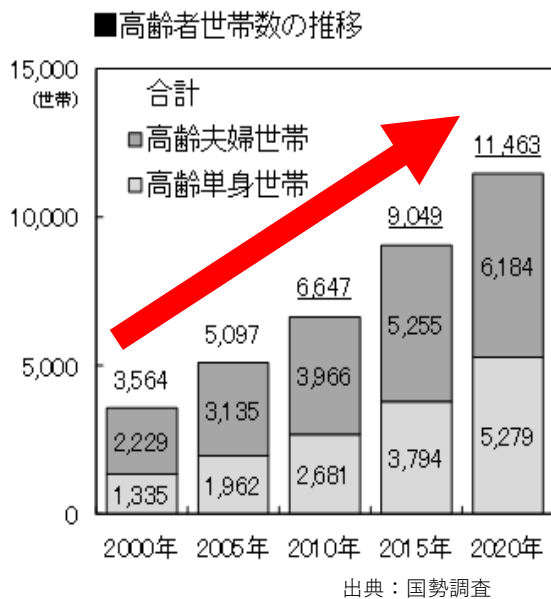
2.5倍に増加



高齡者の増加に伴い、要支援・要介護認定者も引き続き増えることが予想される

(2) 高齢者・介護人材の現状 (高齢者世帯数の推移と介護職員数の推移)

**3.2倍に
増加**



◇介護職員数推計結果

出典：愛知県

単位 (人)

	需要推計	供給推計	需要と供給の差
2023年	113,987	106,573	7,414
2025年	121,007	107,637	13,370
2030年	132,436	109,002	23,435
2035年	139,089	108,630	30,459
2040年	140,940	106,368	34,572

①要支援・要介護認定者の増加

②高齢夫婦・高齢単身世帯への変化により介護実態の変化

①、②などにより介護職員の需要が増加するが、供給は不足することが予想される

(3) 実態調査の結果

(3) 実態調査の結果 (実態調査対象)

刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画の見直しを行うため、3年に1回実施。

今回の結果は令和4年12月1日に実施したもの。

区分		一般高齢者	第2号被保険者	居宅要支援・ 要介護認定者
配布数 (A)		2,200 件	2,000 件	2,000 件
回収数 (B)	郵送	1,587 件	997 件	1,344 件
	WEB	47 件	206 件	(実施なし)
	合計	1,634 件	1,203 件	1,344 件
回収率 (B/A)		74.3%	60.2%	67.2%
無効回答件数	入院中	2 件	0 件	0 件
	転居	0 件	0 件	0 件
	死亡	1 件	0 件	0 件
	その他	0 件	0 件	0 件
	不明・無回答	1 件	0 件	0 件
合計		4 件	0 件	0 件
有効回答件数 (C)		1,630 件	1,203 件	1,296 件
有効回収率 (C/A)		74.1%	60.2%	64.8%

一般高齢者・・・

要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人・要支援認定を受けている人及び事業対象者から無作為抽出

第2号被保険者・・・

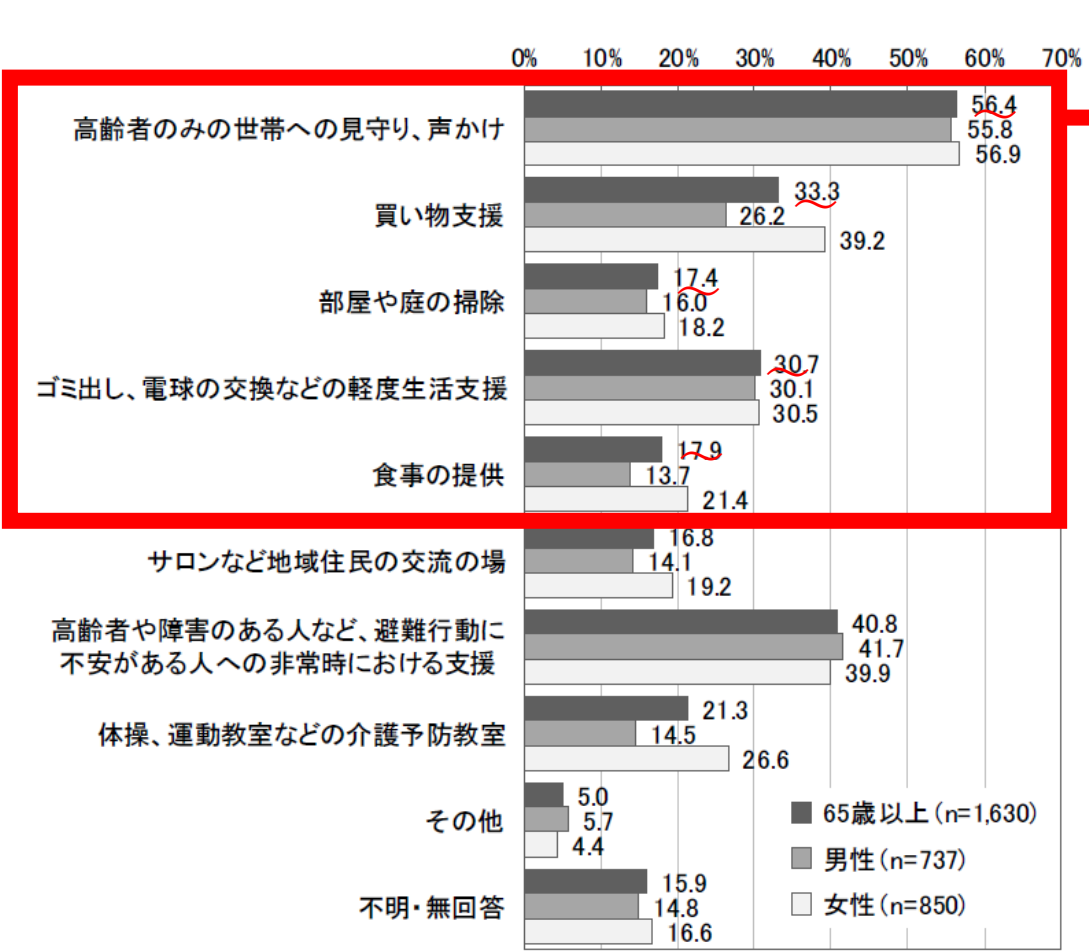
要支援・要介護認定を受けしていない55～64歳の人から無作為抽出

居宅要支援・要介護認定者・・・

要支援・要介護認定を受けて居宅で生活している人から無作為抽出

(3) 実態調査の結果 (支援で必要なもの)

Q.誰もが住み慣れた地域で安心していくためには、地域住民同士の助け合い、支え合いの活動が重要となります。地域住民の力を生かした高齢者支援で必要だと思うもの。(調査対象：一般高齢者)

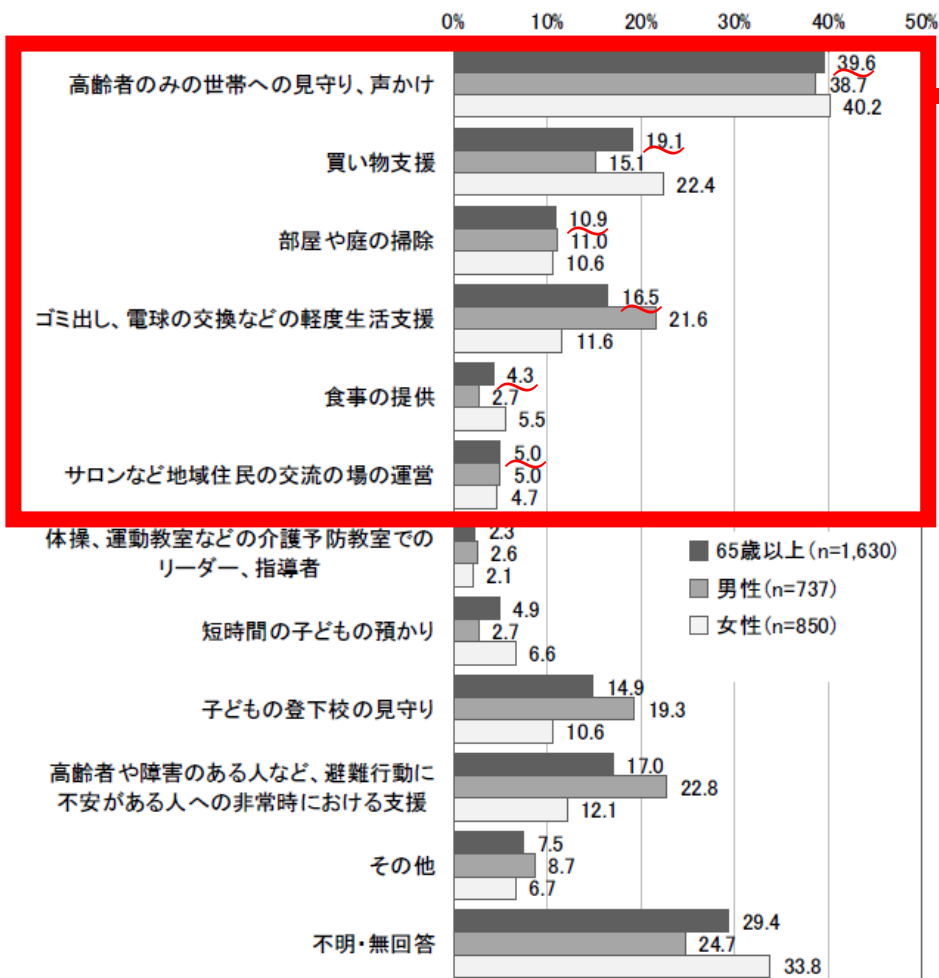


住民の助け合い、支え合いの中で日常生活の支援を必要と感じている

一般高齢者人口で換算すると
 一般高齢者人口・・・26,493人
 56.4%・・・14,942人
 33.3%・・・8,822人
 17.4%・・・4,609人
 30.7%・・・8,133人
 17.9%・・・4,742人

(3) 実態調査の結果 (できる、やってみたい支援)

Q.誰もが住み慣れた地域で安心していくためには、地域住民同士の助け合い、支え合いの活動が重要となります。自分でできる、あるいはやってみたいと思う支援。(調査対象：一般高齢者)

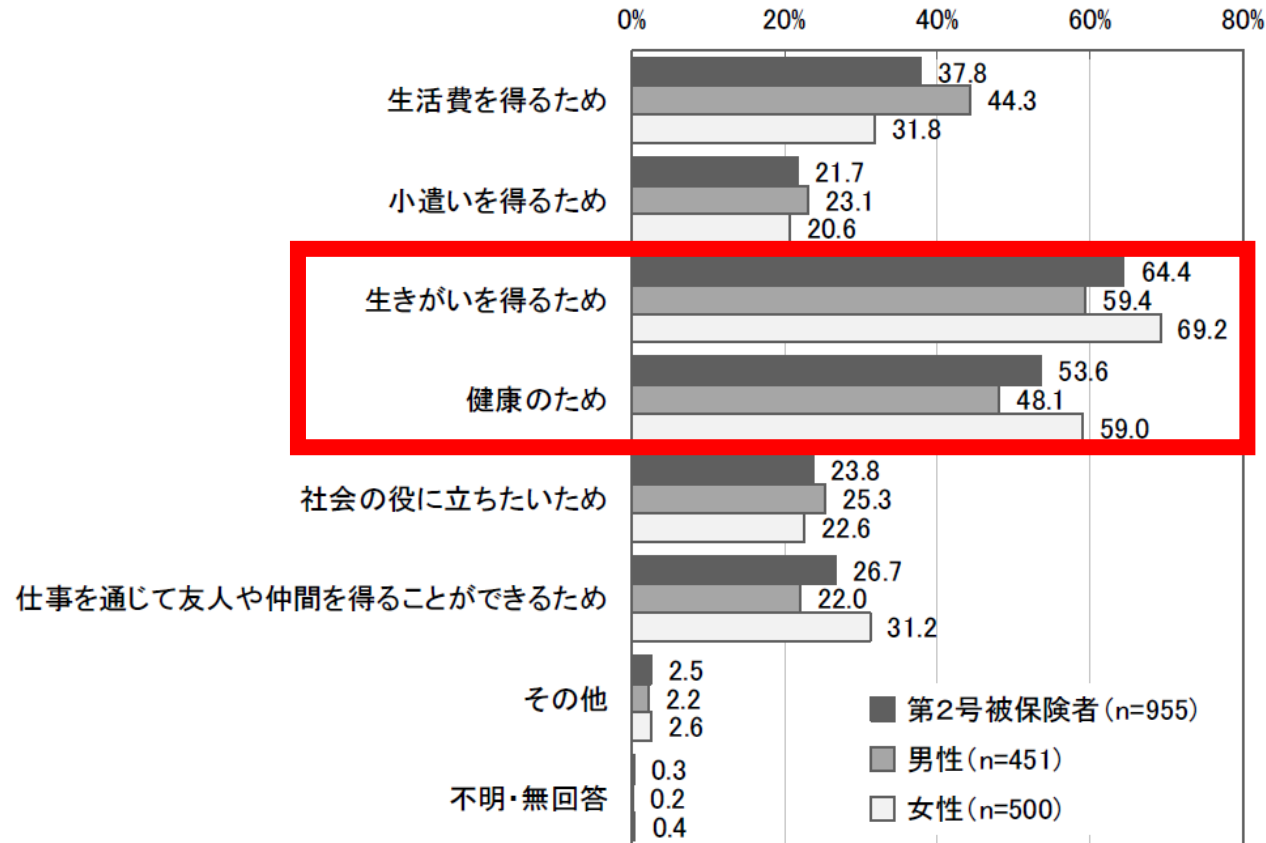


住民の助け合い、支え合いの中で自分でできる、やってみたい支援がある

一般高齢者人口で換算すると
 一般高齢者人口・・・26,493人
 39.6%・・・10,491人
 19.1%・・・5,060人
 10.9%・・・2,887人
 16.5%・・・4,371人
 4.3%・・・1,139人
 5.0%・・・1,324人

(3) 実態調査の結果 (活動する理由)

Q.定年退職などで仕事辞めた後や高齢期に入った際に仕事、趣味、サークル活動、ボランティア活動
をしたい理由はなんですか。(調査対象：第2号被保険者)



(3) 実態調査の結果 (住民の声)

- これから高齢者が多くなり、病気を持つ人、一人暮らしになる人も多くなると思うので、近所づきあいなど、人と人の助け合いが必要になると思う。声をかけ合う、近所の人のおすそをみるため夕食の一品を少しでも分け合うことなどが大切だと思う。高齢になり、認知症になったときに助けてもらうため近所の人に伝えることが絶対に必要だと思う。人という字のように支え合うことが大切だと思う。 (65歳)
- 身体が弱っていくと一人ではできないことも増え、家族身内以外に周りの方たちの支援が本当に大切なことだと痛感しました。私は今年10月に刈谷市に大阪から引っ越してきて、周りに近い知人もいないため不安なことばかりです。近隣のコミュニティは本当に重要だと思いますし、年齢を重ねたらより痛感することだと思います。 (55歳)
- ボランティア名目で住民に押しつけない。50代、60代以降の方を有償で活動してもらおう。 デジタルの活用、育成。 (58歳)
- 役所が中心となり、軽度な生活支援を安価で受けられる支援を設けてほしい。 (56歳)
- 元気な高齢者が活躍できるような新たな場所を作り出すことも福祉のひとつとして考えてほしいです。 社会に関わっているという生きがいや福祉の向上に繋がると感じています。高齢者のスキルを多いに活用できれば素晴らしい。 (60歳)

地域の助け合い

有償ボランティア

軽度な生活支援

高齢者の活躍

※調査結果から一部抜粋、修正を加えています

(3) 実態調査の結果 (まとめ)

- 高齢者が必要だと感じている活動（見守り、声掛け、買い物支援、掃除など）は、自分たち（高齢者）でもできる・やってみたい活動だと思っている
- 活動を行う主な動機は「生きがい・健康のため」の2つである



他市に目を向けてみると

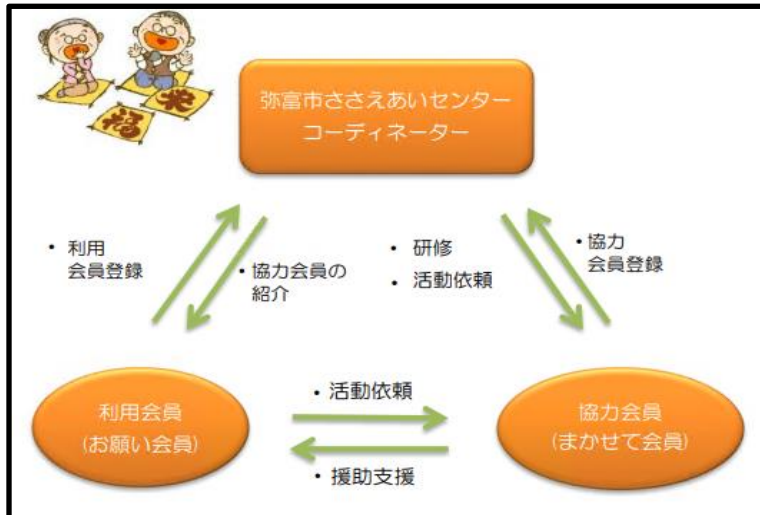
住民参加型の支え合い事業を展開

(4) 他市の事例

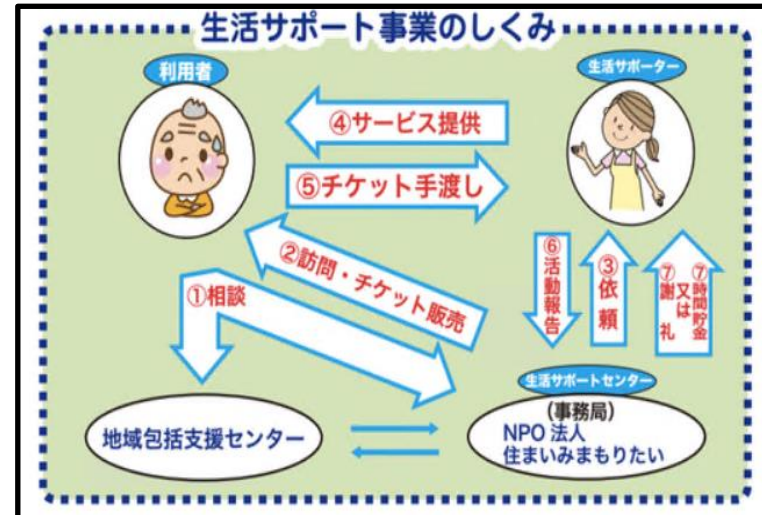
① 住民参加型の支え合い

(4) 他市の事例 ① 住民参加型の支え合い

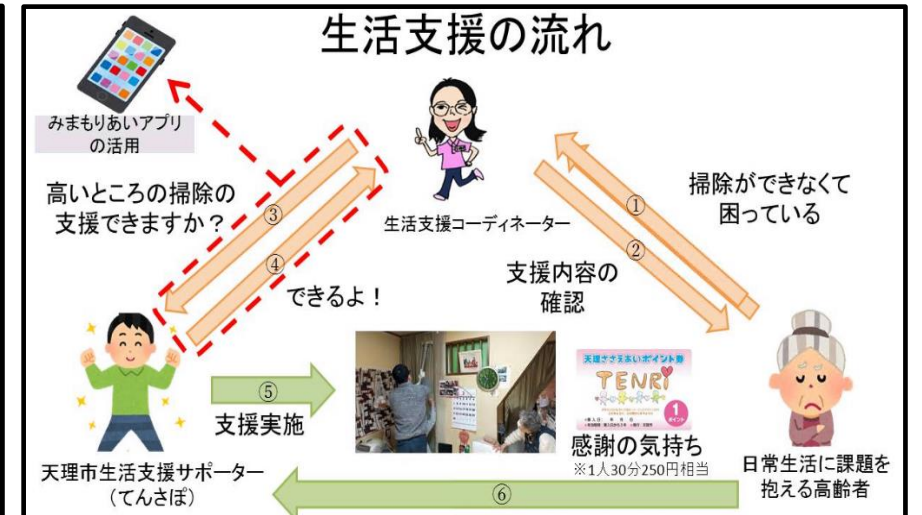
市町村	事務局	利用者	サポーター	活動内容	料金
弥富市	弥富市	高齢者・障害者 (細かな規定あり)	18歳以上 (講座の要受講)	移動支援、買い物、外出の付き添い、 草取り、掃除など	30分ごとに350円 (土日などの時間外は400円) 利用後に利用者の口座から引落とし、 活動後にサポーターへ振込
大東市 (大阪府)	NPO法人住まいみまもりたい	高齢者	18歳以上 (講座の要受講)	外出の付き添い、 買い物、草取り、 掃除など	30分ごとに250円 利用後30分につきチケット1枚を サポーターへ渡す 事務局で換金もしくは時間貯金
天理市 (奈良県)	地域包括支援センター	高齢者	18歳以上 (講座の要受講)	傾聴、草取り、掃除など	30分ごとに250円 利用後30分につきチケット1枚を サポーターへ渡す 事務局で換金もしくは時間貯金



弥富市



大東市



天理市

(4) 他市の事例 ① 住民参加型の支え合い

市町村	事務局	利用者	サポーター	活動内容	料金
大東市 (大阪府)	NPO法人住まいみまもりたい	高齢者	18歳以上 (講座の要受講)	声かけ(話し相手)、外出の付き添い、掃除、買物、草取りなど	30分ごとに250円 利用後30分につきチケット1枚をサポーターへ渡す 事務局で換金もしくは時間貯金



介護保険サービス外のことも支援可能


(4) 他市の事例 ① 住民参加型の支え合い (刈谷市の課題)

課題


- ・ 要支援・要介護認定者の増加
- ・ 介護人材の不足により、サポートを必要とする高齢者の日常生活が今後さらに困難になる

住民参加型の支え合いを行うことで


課題解決を支援



生活支援自体が社会参加活動となり、サポーターの介護予防につながる



住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり



年齢や職種など垣根のないサポーター（担い手）の発掘・養成

副産物

- ・ 利用者から感謝される⇒生きがいの創出
- ・ 住民が地域に意識をもつ
(利用者を日頃から気にする、災害時に気にする)
- ・ 利用制限のない生活支援の創出

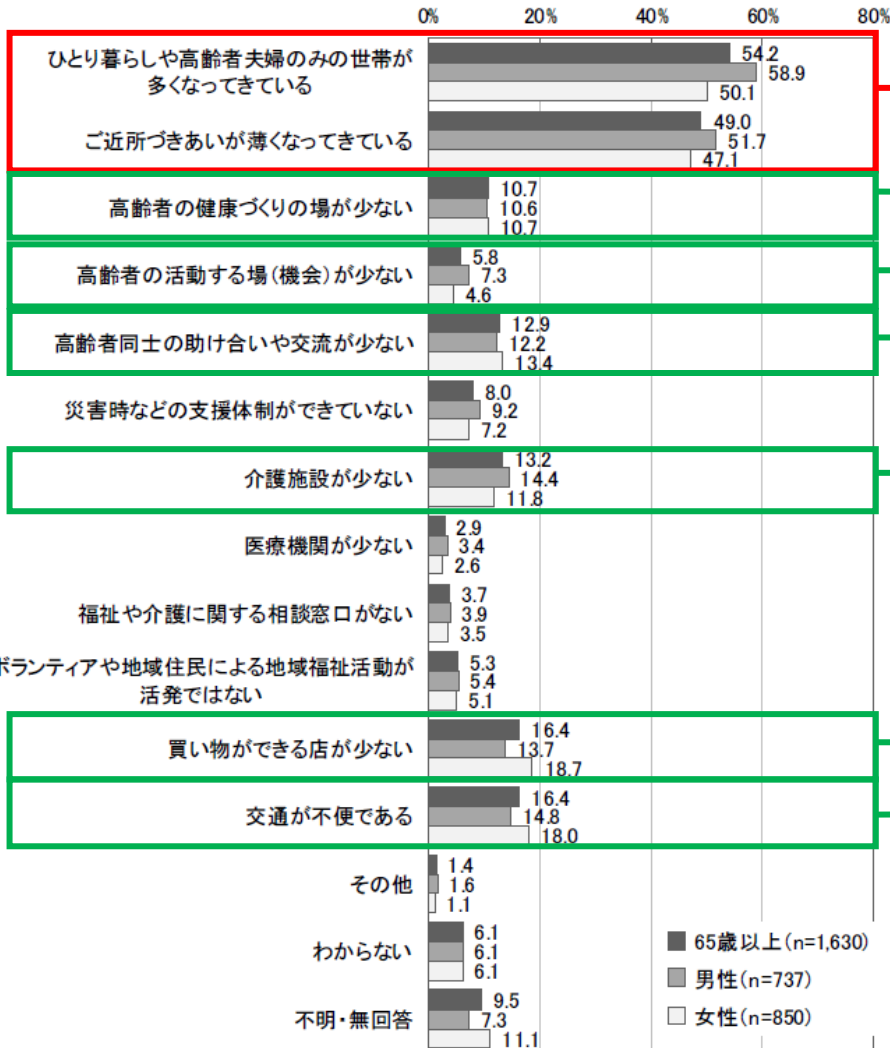
など

(4) 他市の事例

② 民間企業等との連携

(4) 他市の事例 ② 民間企業等との連携

Q.地域における高齢者の課題は何だと思えますか。(対象：一般高齢者)



住民参加型の支え合い

高齢者の健康寿命を延伸するため、多様なサービスの拡充が必要

公共

フォーマル・インフォーマルサービスの把握・整理

くらしの地域支え合いガイドの拡充

- ・ 総合事業自体の見直し (長寿課)
- ・ 約5,000人が所属するいきいきクラブの活動 (長寿課)
- ・ 6つの総合型地域スポーツクラブ (スポーツ課)
- ・ 約150の趣味・運動関係のグループやサークル (生涯学習課)
- ・ 介護予防に関連する講座や教室 (健康推進課、社会福祉協議会)



など

民間

拡充の余地があり

(4) 他市の事例 ②民間企業等との連携

豊明市

- 公的保険サービスである医療・介護だけでなく、高齢者の生活を支え健康寿命の延伸に資する民間サービス市場が拡大することで、高齢者が多様な選択肢の中からサービスを選択できるよう、民間事業者と協定の締結。

No.	事業者名	店舗	協定締結日
1	(株)ナカシロ	みどり楽の湯	平成29年2月15日
2	生活協同組合コープあいち	前後駅前とよあけ店	平成29年2月15日
3	(株)コパン	スイミングスクール豊明 スポーツクラブ緑	平成29年2月15日
4	(株)中西		平成29年2月15日
5	(株)東海第一興商	カラオケクラブDAM	平成29年2月15日
6	森永乳業(株)	中部支社 東海支店	平成29年2月15日
7	(株)KOMOKA	ダスキン ライフケア	平成29年2月15日
8	(株)だるま	Curves前後駅前	平成29年2月15日
9	(株)スギ薬局	市内店舗	平成30年2月27日
10	コナミスポーツ(株)	豊明店	平成30年2月27日
11	宮地楽器(株)	豊明店	平成30年2月27日
12	(株)アイシン		平成30年4月1日
13	中外製薬(株)	東海北陸統括支店	平成31年1月4日
14	(株)明治	中部支社	令和元年8月20日
15	(株)JTB	名古屋事業部	令和元年9月26日
16	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所		令和元年10月21日
17	中北薬品(株)	天白支店	令和2年1月7日
18	特定非営利活動法人えんとかく		令和5年4月1日

(4) 他市の事例 ②民間企業等との連携

高齢者の暮らしにくさを解決する生活支援や健康寿命延伸に寄与するサービスを展開する民間企業に市から声を掛け協議の場を設けた。その後、個別に市とサービスの協議を重ねた。

参加者

リサイクル業者、フィットネスクラブ、掃除サービス業者、食品メーカー、スーパー、天然温泉施設、カラオケ施設、学習塾、介護事業所、地域包括支援センター など

協議内容

国の動向、市の高齢者の現状、高齢者のニーズ、現行の民間サービスの利用のしにくさなどを協議



(4) 他市の事例 ②民間企業等との連携



市外温泉からの無料送迎バス

天然温泉
楽の湯 (株)ナカシロ
みどり

隣接市（名古屋市緑区）の複合温泉施設の送迎バスが、豊明市内の一部の地域を走っているのを職員が発見。しかし乗車率が非常に悪かった。



送迎バスがある民間施設は、高齢者が毎日外出できる場所になり得ると考え、すぐに市からアプローチ。バスの乗車率向上の協力(住民への周知)を申し入れた。



定例ミーティングを重ね、送迎バスのチラシ、販促用の割引チケット等を共同で制作。地域住民が集まる場で、職員が直接配布し、効果を検証した。

(4) 他市の事例 ② 民間企業等との連携



買った商品を無料配送するスーパー



団地プロジェクトで、買い物は**自分の目で見て選びたい**が、買った商品を持って階段を昇ることが難しく、一度に**たくさん購入できない**というニーズを把握。

駅前に店舗を構えるコープに市からプロジェクト会議への参加を依頼。従来の個人宅配の使いにくさ等、高齢者のニーズを共に検討、**新たなサービスの検討を重ねる**。

店舗で購入した商品を無料でその日のうちに配達する「ふれあい便」をスタート。その後電話注文も対応。サービスを使った**買物方法を市がケアマネジャーや住民に周知し利用を促した**。



(4) 他市の事例 ②民間企業等との連携



(4) 他市の事例 ②民間企業等との連携（刈谷市の方向性）

- 高齢者が多様な選択肢の中からサービスを選択できるように、民間事業者との連携。
- 刈谷市の現状や実態調査の結果を民間企業等と共有し、高齢者の生活を支え健康寿命の延伸に資するサービスの拡充。

【連携候補の事業所】

- 刈谷市と見守り協定を結ぶ新聞店、スーパー、郵便局、保険、製薬会社など53事業所（令和5年7月31日現在）
- 市内のフィットネスクラブ、スーパー、ドラッグストア、コンビニなど

(5) 第2層生活支援コーディネーター活動報告

(6) その他